

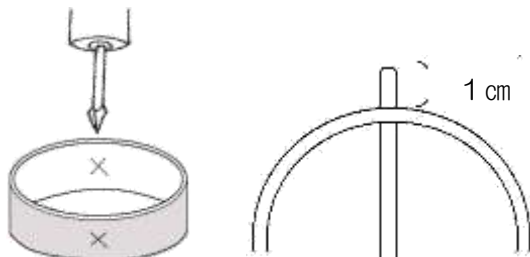
伝統遊具づくりでんでん太鼓

柄をつけた紙張り太鼓の両側に糸で豆をつるし、柄を左右に回すと豆が太鼓の面に当たって「でんでん」と鳴ることからこの名前がついています。地方によっては「豆太鼓」「ばたばた」「ポンパチ」「ぶりぶり太鼓」「振り太鼓」などと呼ばれています。

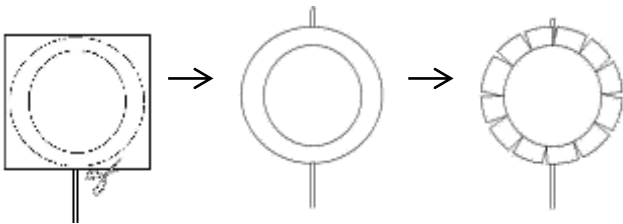
材料：セロハンテープの芯・菜ばし・和紙・ビーズ・凧糸(20 cm)・折り紙
 道具：はさみ・きり・のり・セロハンテープ

《作り方》

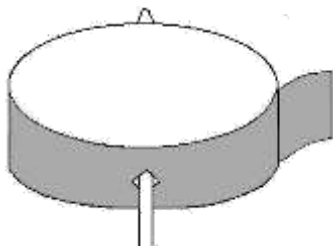
1. テープの芯の上下にきりを使って穴を開け、菜ばしの上が1 cmくらい出るように差し込む。



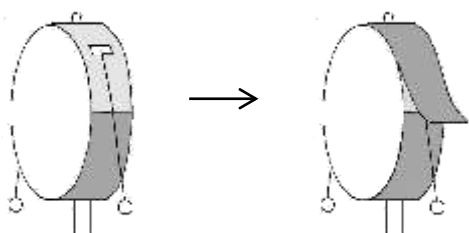
3. 和紙をのりしろ部分5 mmくらいを残して切り、テープの芯にそってその部分を貼る。



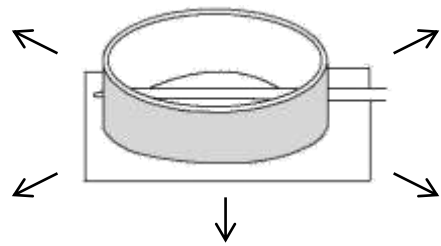
5. 切った折り紙の一枚をテープの下部分に貼る。



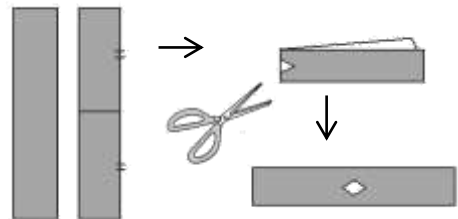
7. 確認が出来たら凧糸をセロハンテープで芯に固定し、残りの折り紙を芯の上部分に貼る。



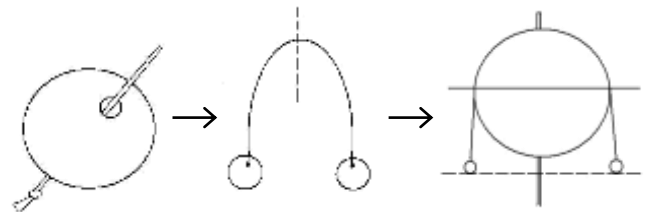
2. 和紙をテープの芯の両面に貼り付ける。(なるべくピンと貼るように気をつける。)



4. 折り紙をテープの芯の幅に2枚切り、折り紙の中心に穴をあける。



6. ビーズに凧糸を通し、太鼓の面の中心にビーズが当たるか確認をする。



《遊び方》

菜ばしを両手ではさみ、手をこすり合わせて太鼓がクルクル回るようにします。暖房等で温めると、和紙にはりが出て音が変わるので試してみてください。

